ロンメル軍団を叩け（1970）

RAID ON ROMMEL

メディア 映画
ジャンル 戦争　アクション
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 98分
初公開日 1971/06/12
公開情報 Ｕｎｉ＝ＣＩＣ

【キャッチコピー】
熱砂を灼きつくす十字砲火！大ロンメル軍団撃滅作戦を敢行する英軍特攻隊－死の突撃！

【解説】
第二次世界大戦初期の１９４２年。熱砂の北アフリカ戦線では、“砂漠の狐”と呼ばれるロンメル将軍率いるドイツ軍戦車軍団が圧倒的な強さを誇っていた。洋上からの攻撃に備えるトブルク砲台を破壊する必要ありと判断したイギリス軍は、コマンド部隊のフォスター大尉に密命を下すが、リビアへ飛んだフォスターは合流予定だった部隊がすでに撤退したことを知る。捕虜にされていた野戦病院部隊を救出したフォスターは、任務遂行のためにトブルクを目指すのだが…。
第二次大戦初頭の北アフリカ戦線を舞台に、“砂漠の狐”と異名を取った独軍ロンメル将軍の戦車部隊に挑む、英軍コマンドの活躍を描いている。コマンドを率いる主役を演じたＲ・バートンのワンマン映画で、彼がいなければ殆ど成立しない作りだが、そこは職人Ｈ・ハサウェイ監督、全体を娯楽アクションとして実にソツなくまとめている。ただ、移動するロンメルの部隊を追った俯瞰撮影等に非常に重量感があるせいか、敵の独軍の方がインパクトを出してしまっているのが不思議。クライマックスの戦闘シーンは「トブルク戦線」からの流用。

【クレジット】

監督	ヘンリー・ハサウェイ	Henry Hathaway
製作	ハリー・テートルマン	Harry Tatelman
脚本	リチャード・ブリュエル	Richard Bluel
撮影	アール・ラス	Earl Rath
特殊効果	アルバート・ホイットロック	Albert Whitlock
音楽	ハル・ムーニー	Hal Mooney
出演	リチャード・バートン	Richard Burton
	ジョン・コリコス	John Colicos
	ウォルフガング・プライス	Wolfgang Preiss
	クリントン・グレイン	Clinton Greyn
	ダニエル・デ・メッツ	Danielle De Metz
	クリストファー・ケリー	Christopher Cary

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.